

JBC 公認試合で試合をされた選手の皆さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センターでは、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、JBC の公式試合で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、以下の情報を研究に用いられたいとお考えの選手またはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた選手の情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、選手に不利益が生じることは一切ありません。

プロボクシングにおける有害事象の予測因子解析と
選手の安全基準策定に関する研究；
Boxer-safe 研究；
Boxing Organized eXposure Epidemiologic Research -
Safety for Athletes From Evidence

1. 対象となる選手

2005 年 1 月～2025 年 8 月の間に JBC 公認の全プロ公式戦に出場した選手

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター 笠原 正登

3. 研究の目的と意義

ボクシング競技において致死性的あるいは重篤な頭部外傷は重大な事故であり、近年多発しています。これらの複数事例を受け、再発防止のための対策が求められています。

減量（いわゆる水抜き）、試合のラウンド数、過去試合における被弾・ダウン歴等のダメージ蓄積、階級、年齢などがこれらの重大事故と関連があると考えられています。しかし、これらの候補要因に関して系統的に同一コホートで比較したエビデンスは限られます。

本研究では、公的記録から重大有害事象のリスクに関連する独立因子を同定することを目的とします。本研究の成果はこれらのリスクを未然に防ぐことで、安全性の高い試合への医療体制強化やルール改正に直結し、ボクシングの発展に貢献できると考えています。

4. 研究の方法

JBC より、すでに実施された国内 JBC 公認のプロ公式戦について以下のデータを受領します。それらを基にデータベースを構築します。試合単位での有害事象の発生とその内容、減量規模（％）、ラウンド数、直近の身体的負荷、階級、年齢との関連を調べます。

5. 使用する情報

JBC 公認のプロ公式戦 2005 年 1 月～2025 年 8 月での試合記録、および JBC が保管している外傷等の記録

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究の実施体制

この研究は、他の機関と共同して実施します。実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター 笠原 正登

8. 外部機関への情報等の提供

【国内の委託業者に試料・情報を提供する場合】

データベース構築および解析のため、以下の業務委託機関に試合データを提供します。選手のお名前等は業務委託機関において削除し、個人を直接特定できないように加工します。

業務委託機関：ClinChoice 社

責任者：小林 学司（バイオメトリクス事業部 データマネジメント シニアマネージャー）

提供方法：電子的配信

- 提供先が講ずる個人情報の保護のための措置について

業務委託施設については、個人情報等に配慮し、厳重なデータセキュリティが確保された環境で実施することを委託契約書において規定します。また、委託業務の実施状況等は、委託契約書に基づき必要に応じて監督を実施します。

9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028年3月31日

10. 個人情報の取り扱い

対象となる選手の個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター 浅田 潔

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：kasada@narmed-u.ac.jp